

# CASBEE®-建築(新築)

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

## 評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	春日部市新本庁舎建設工事	階数	地上6階
建設地	埼玉県春日部市	構造	S造
用途地域	第一種住居地域、第二種住居地域	平均居住人員	1,298 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,920 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年9月 予定	評価の実施日	2021年3月1日
敷地面積	8,410 m <sup>2</sup>	作成者	高山 将太
建築面積	3,929 m <sup>2</sup>	確認日	2021年3月1日
延床面積	17,081 m <sup>2</sup>	確認者	織間 正行

  

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)		2-3 大項目の評価(レーダーチャート)	
BEE = 3.3 ★★★★☆					
S: ★★★★★ A: ★★★★☆ B+: ★★★★ B-: ★★★ C: ★★			30%: ★★★★★ 60%: ★★★★☆ 80%: ★★★☆ 100%: ★★ 100%超: ☆		
		このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフケークルCO <sub>2</sub> 排出量の目安で示したものです。			
2-4 中項目の評価(バーチャート)					
Q 環境品質					
Q1 室内環境		Q2 サービス性能		Q3 室外環境 (敷地内)	
LR 環境負荷低減性					
LR1 エネルギー		LR2 資源・マテリアル		LR3 敷地外環境	
3 設計上の配慮事項					
総合			その他		
埼玉県春日部市に新設される市庁舎である。市民の集う憩いの場であるとともに、BCPや環境負荷抑制にも配慮した計画である。					
Q1 室内環境		Q2 サービス性能		Q3 室外環境 (敷地内)	
・開口部遮音性能をT-2以上とし、また照度の確保や照明制御等にも配慮し室内音環境や光環境の向上を図っている。		・耐震性能の向上や非常用発電機の設置によるBCP対応、また床荷重や壁長さにゆとりを確保し将来の計画変更への対応性向上を図っている。		・良好な景観形成への配慮、また地域住民への施設・敷地提供等を計画し地域のアメニティ向上を図っている。	
LR1 エネルギー		LR2 資源・マテリアル		LR3 敷地外環境	
・高効率な設備システム採用、自然エネルギー利用手法の採用により、省エネルギー・環境負荷低減に配慮している。		・節水器具やリサイクル材の採用により、資源保護を図っている。		・駐車駐輪スペースの確保、管理用車両スペースの確保により、周辺道路の渋滞抑制に配慮している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフケークルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフケークルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される